



## 全国学力・学習状況調査から見えてきたこと

4月に6年生を対象にした全国学力・学習状況調査が実施されました。個人の結果については各ご家庭に9月下旬にお渡ししましたが、今回は本校結果概要、今後の学校の取り組み、ご家庭でご協力いただきたいこと等についてお知らせします。

### 国語

よくできている点→○ 課題のある点→●

- 漢字の使い方については、ほとんどの問題で府や国の正答率を上回った。
- 敬語の使い方や、目的に応じて文章を捉える問題も正答率が高かった。
- B問題の中で、複数の文章を相互に比べながら回答したり、複数の条件を満たす回答を書くことに課題がある。

### 算数

- 除法の基礎的な計算、数量関係を数直線上に表す問題、空間の中の位置を示す問題の正答率が府や国を上回った。
- 正三角形を敷き詰めてできる図形についての理解もよくできている。
- 分度器を使う問題、割合を考える問題、円についての理解を問う問題等に課題が見られた。

### 児童質問紙より

- 朝食の摂取や睡眠などの基本的な生活習慣が身につけており、夕食を家族と一緒に摂る、学校での出来事を話すなど、家庭でふれあう割合が高い傾向が見られる。
- 文章で答える問題について、国語・算数・理科とも「最後まで解答を書こうと努力した」と回答した割合が高く、ねばり強く問題を解こうとする姿勢が身につけている。
- 子どもたちの地域の行事の参加や地域への思い入れが強く、良好な人間関係づくりに地域が果たす役割が大きい。
- 「自分には良いところがあると思いますか」という質問は全国平均より低く、自尊感情、自己有用感が低い。
- 平日の子どもたちの過ごし方で、テレビの視聴時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメールをする時間が長く、反対に家庭学習に費やす時間や読書時間が短い。
- 家庭学習の時間に二極化がみられ、している子としていない子の差が開いている。また土日など、学校が休みの日の家庭学習の時間が全国平均より短い。

### 今後の学校全体での取り組み

#### 1、授業

- ・ペアやグループでの話し合いや、児童の主体的・共働的な学習を今後も進めます。
- ・本文を引用したり、必要な情報を読み取る学習、限られた字数でまとめる学習に取り組みます。
- ・課題の見られた単元について、低学年から丁寧に習熟を図ります。
- ・よりよい言語環境をめざします。

#### 2、朝の学習時間・まなび舎(放課後学習)の充実を図ります。

- ・基本的なことから習熟の徹底
- ・知識を活用した問題へのチャレンジ
- ・読書活動の充実

#### 3、家庭学習の徹底と、自主学習の充実を図ります。

#### 4、学校生活のあらゆる場面において、よい行いをした時にはしっかりと褒めます。

### ご家庭で協力していただければありがたいこと

#### 1、家庭学習

- 決まった時間に、決まった場所で取り組めるように声掛けをお願いします。  
(学習時間は、低学年30分・中学年45分・高学年60分を目安に)

#### 2、テレビ・ゲーム・携帯電話・スマートフォン

- ご家庭できまりをつくり、適度な付き合い方ができるようをお願いします。

#### 3、自己有用感を育てるために

- 子どもが自分に自信が持てるよう、どんな些細なことであっても褒めてやってください。



以上よろしくをお願いします。